

『Bridge』

『Bridge』は令和3年度から始まる新しい中学校学習指導要領（平成29年3月告示）において追加された内容を，移行期間中に学習することができるように作成されたものである。しかし，令和2年度は新型コロナウイルスの影響で，6月から授業が始まり，かつ前年度の積み残しを実施する必要があった。そんな中で『Bridge』を活用する時間を確保できなかった学校も多いのではないかと考える。

知多カリ英語部としては，そのような状況下で『Bridge』を令和2年度に実施できなかった学校に，令和3年度及び4年度に，どの時期に，どのように活用することが望ましいかを提示する。未実施の学校は，難易度的にも「3年生での実施」が望ましいと考える。

本教材『Bridge』は，部活動，友達との待ち合わせ，携帯電話でのやり取りなど，中学生にとって身近な話題が集められている。そのため，文を読むだけでなく，読んだ内容について，自分が思ったり考えたりしたことを，クラスで話し合ったり，書いたりすることができるようになっている。生徒たちの英語の世界がいつそう広がっていくことを願い，本教材を主体的に活用していただければと思う。

別表「新学習指導要領対応 中学校外国語教材『Bridge』活用法」 活用パターン記号

- | | |
|---|--|
| 必 | ⇒ 必ず実施すべき項目（1年・2年の教科書でターゲットセンテンスを取り扱っている項目）。令和2年度の1，2年時で『Bridge』の該当内容が未実施ならば，必ず3年生で実施する。 |
| 教 | ⇒ 3年の教科書でターゲットセンテンスをカバーしている項目。表現力の促進や練習問題として効果的に活用できるとよい。 |
| 家 | ⇒ 家庭学習や宿題として活用してもよいと考えられる項目。 |
| 受 | ⇒ 地図やグラフが活用され，受験対策としても効果的と考えられる項目。 |

新学年の新教科書では「復習」という形で学習漏れの箇所（未習なのに既習扱いと見なされる箇所。例えば，令和3年度3年生における受け身形など）はカバーできるようになっている。しかし，定着が不十分と考えられる場合は，下級学年の新教科書等を活用して定着を図るとよいだろう。

新学習指導要領対応 中学校外国語教材 『Bridge』

項目 番号	Contents (目次)	主な文法事項	教科書掲載	効果的なフォロー アップ時期	活用パターン
1	What a Wonderful Memory!	How fast! (感嘆文)	1 年 Unit8	3 年 1 学期後半	必
2	A Birthday Present	What a good idea! (感嘆文)	1 年 Unit8	3 年 Unit3 の後	教・家
3	Join us!	We can help you enjoy tennis! (原形不定詞)	3 年 Unit3	3 年 Unit3 の後	教・家
4	What a Great Movie!	What a surprising ending! (感嘆文)	1 年 Unit8	3 年 Unit3 の後	教・家
5	Online English Lesson	I'm sure that you'll enjoy my lessons. (主語 + be 動詞 + 形容詞 + that)	2 年 Unit5	3 年 2 学期後半	必
6	American Schools	Let me tell you about my school. (let me tell you)	3 年 Unit3	3 年 Unit3 の後	教・家
7	If you had \$10,000...	If I had \$10,000 for the party, I would have a famous chef... (仮定法)	3 年 Unit6	3 年 Unit6 の後	教・家
8	http://www.magicmedicine	The medicine lets you talk with animals. (let + 人 + V)	3 年 Unit3	3 年 Unit3 の後	教・家
9	Meeting Friends	I have been waiting for 20 minutes. (現在完了進行形)	3 年 Unit2	3 年 Unit2 の後	教・家
10	Can you help me?	I've been doing my homework since this morning. (現在完了進行形)	3 年 Unit2	3 年 Unit2 の後	教・家
11	A Time Machine	If we had a time machine, would you use it? (仮定法)	3 年 Unit6	3 年 Unit6 の後	教・家
12	What can we do for the Environment?	If people didn't try to be eco-friendly, what would happen? (仮定法)	3 年 Unit6	3 年 Unit6 の後	教・家
13	Super Robots	Everyone has been dreaming of super robots. (現在完了進行形)	3 年 Unit2	3 年 Unit5 の後	教・家
14	Strange Events around the World	Children will be happy that it's a funny race. (主語 + be 動詞 + 形容詞 + that)	2 年 Unit5	3 年 Unit4 の後	必
15	Headphones & Hearing Loss	This will help you protect your ears. (原形不定詞)	3 年 Unit3	3 年 Unit3 の後	教・家
16	Which Way is Best?	If I were you, I would ride this bus. (仮定法)	3 年 Unit6	3 年 3 学期	教・受
17	Help the Store!	She asked her classmates what kind of store they want to go to. (SVOO)	3 年 Unit1	3 年 3 学期	教・受
18	Cash or Cashless?	Small shops and restaurants often tell them that only cash is accepted. (SVOO)	3 年 Unit1	3 年 3 学期	教・受

『Bridge』 授業や家庭学習での取り扱い方の一例

(教科書やワークシートを使用し、ターゲットセンテンスの学習が終了した段階での活用法)

- 1 『Bridge』の各右頁のQRコードを読み取り、本文を見ずに、一度聞く。^{活動時間【目安】}【30秒～2分】
- 2 (自力で) 本文を読み、CheckとTalkに取り組む。時間を計るとよい。【10分～15分】
- 3 Talkの箇所を4人グループで発表し合う。【2分】
- 4 グループでのよい意見を全体で共有する。【5分】
- 5 本文の大意を確認し、答え合わせと解説をする。(家庭学習では巻末のSample AnswersやWordsを見て自分で答え合わせをする)。【5分～10分】
- 6 Writeの箇所は宿題とし、巻末のSample Answersを見て、各自で答え合わせをする。

『Bridge』は、各頁、よく考えられた内容となっている。特に「思考力、判断力、表現力」を鍛えるには効果的であると考え。実施時期を考慮し、授業や家庭学習で計画的に実施していきたい。